

佐渡米通信 こめ〜る 5月号



「おいらん道中 in 桜まつり」が4月19日に佐渡市羽茂本郷で行われました。華やかな衣装のおいらん3人が付き人総勢約70人を連れ、町内を練り歩きました。

おいらん道中は羽茂地区の春の一大行事で、地元住民ら実行委員会が主催し、今年で19回目。おいらん役は島内の20代前半の女性が公募で選ばれ、付き人は地元の高校生や保育園児たちが務めました。おいらん一行は午後3時ごろ出発し、舞い散る桜並木の中、高げたを履いた両足で八の字を描くように進む「外八文字」を披露し、観客の歓声の中、約1時間後に目的地に到着しました。「おいらん」は佐渡の春の風物詩として定着してきているようです。



「外八文字」を披露する

華やかな衣装で桜並木を練り歩くおいらん一行

「コースにいがた田植えツアー」が5月9日に行われました。島外から親子39名が来島し、島内からの佐渡kids いきもの調査隊のみなさんと一緒に総勢60名による田植え作業を行いました。天気にも恵まれ、裸足で田んぼに入った子供たちの歓声もあり、大変にぎわいました。田植え後の生きもの調査は、いろいろな種類の生きものが見つかり、子供たちも大喜びでした。お昼の交流会を終え、地元の齋藤農園でのイチゴ狩りやトキの森公園見学をし、楽しい一日を過ごしました。



生きもの調査



北陸新幹線の開通にあわせ、佐渡小木航路に「あかね」が就航しました。



佐渡汽船高速カーフェリー「あかね」

5月8日現在、野生のトキ7組から計12羽のひなが確認されています。今季は「野生下生まれ2世」が誕生するかが注目されています。



トキ情報



苗運び仲間が応援に来てくれました

5/15

田植えが行われました。

4/23

本間さんのハウスへ苗の様子を見に行きました。

4/10

佐渡金井地区米生産者本間明さんのお宅で、種まき作業が行われました。

佐渡米作り日誌



本間和明さん



休憩中



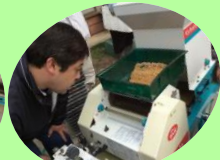
田んぼの面積1万平方メートル
午前中で終わる予定です



7ール育苗



仲間が手伝いに来てくれました



JAの水稲指導と農機具の担当も現場に駆け付けました

編集人：佐渡農業協同組合

営農事業部米穀販売課 渡部・買(まい)

beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成27年5月

JA佐渡HPやフェイスブック、ツイッター、g+でも佐渡の情報が見られます